

コミネット宝木
地域コミュニティ計画修正
(平成29年度案)



平成29年4月

宝木地区まちづくり協議会

「コミネット宝木」まちづくり策定の経過と位置づけ

平成21年5月実施のアンケートは、回収率85.5%の数字からも宝木地区住民の意見が均等に反映され、ほぼ地区住民の総意と考へる事ができます。

また、中間報告会・地区住民の集いの意見を参考に、今後のまちづくり計画に反映するものとします。

設問Ⅰ 年齢構成について

回答者の年齢比率から高齢化が深刻であり、若い世代の転出、それに伴い出生率の低下は、宝木地区の少子高齢化に拍車が掛かっている。

設問Ⅱ 生活環境について

子どもや孫たちに対し、「いずれは宝木地区に住んでもらいたい」と望んでいることから、子どもや孫たちが宝木地区に対して魅力を感じる事が必要であり、さまざまな体験により、地区の良さを感じ、愛着を醸成させたい。

設問Ⅲ 自然環境について

「放棄田」や「獣害」が多く、環境保全の大切さが問われるが、それが問題であるという意識が薄いように思える。地区の現状を知り、豊かな自然を後世に残す努力が必要である。

設問Ⅳ 子どもを育む環境について

地区内の誰もが、顔見知りである面識社会を確立し、安心感を与え、地域で子どもを育てる環境づくりが求められる。

設問Ⅴ 防災防犯対策について

高齢者を抱える家族にとって戻間の状況が不安であり、見守り活動や、援護体制の構築が解消に繋がり、そのことが高齢者自身の不安解消にもなる。

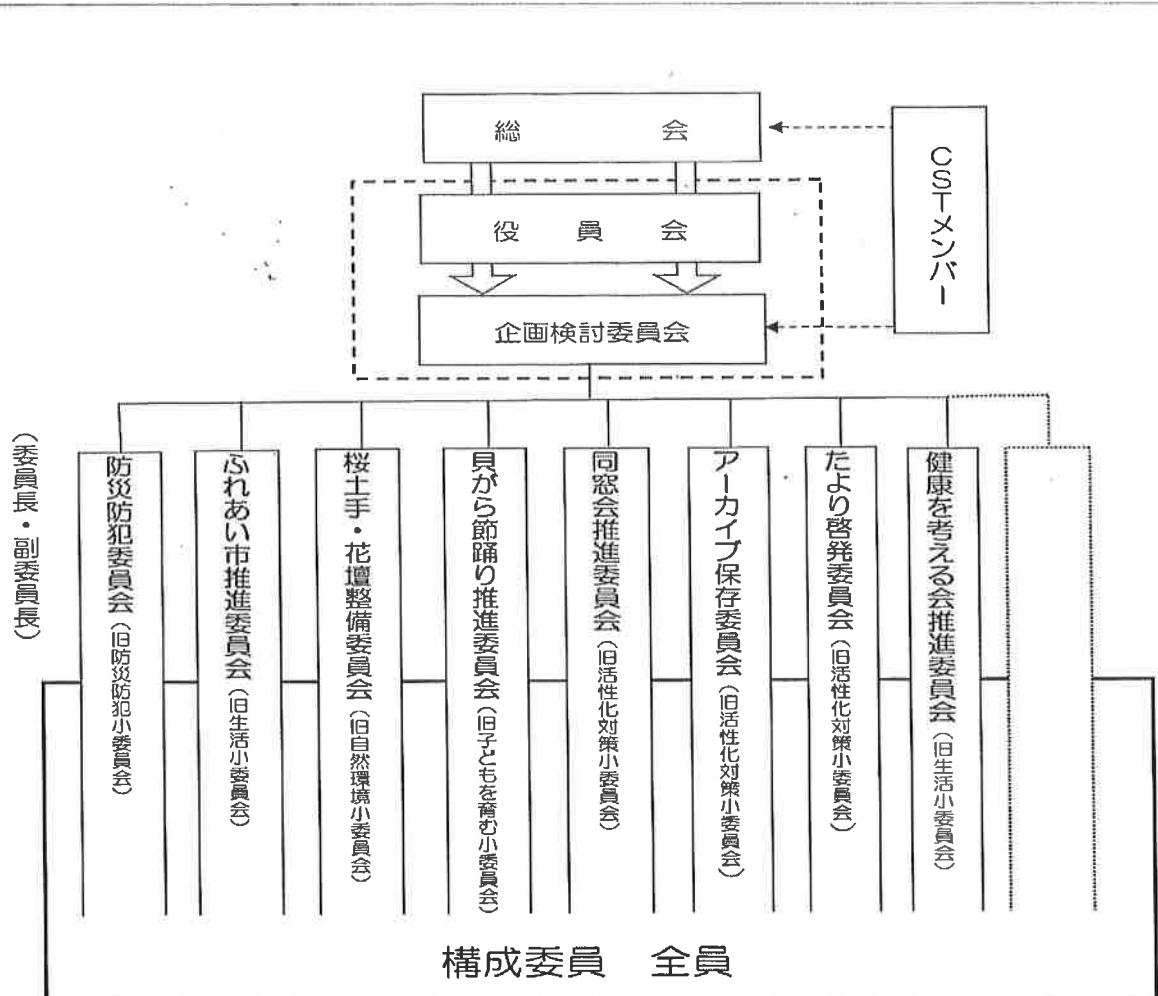
日頃の訓練や、隣近所の連携が必要と思える。

設問Ⅵ 活活性化について

地区内行事は、統合し、効率・効果的に実施するよう検討し、また、伝統行事は再編して保存する工夫が求められている。

宝木地区まちづくり協議会の浸透度は、事業の拡充・啓発活動・たよりを発行することにより徐々ではあるが、高まりつつある。

以上のアンケート結果をもとに、平成24年度より、各小委員会を設定し取り組んできましたが、各小委員会制における実施事業の職制の明確化や、委員会メンバーの固定化の解消、事業の改廃における組織の多様化を計るため、平成28年度より小委員会制を廃止し、各事業毎の委員会制とする新組織になりました。



委員会（各事業）は、宝木地区まちづくり協議会（コミネット宝木）が主体として推進・活動しているものとし、それぞれ委員長・副委員長を決めて事業を推進する。

メンバー

総会 : 協議会委員（構成委員）全員

役員会 : 会長、副会長、庶務・会計 ◎定期的に集まり協議会全般に渡り協議する

企画検討委員会 : 会長、副会長、全委員長・副委員長、会長が指名する委員、庶務・会計
◎事業立案・運営について協議する

☆各委員会（事業）必要に応じ運営のための委員会を開催する。

各委員会の事業運営は、担当委員はもとより事業によっては構成委員全員で行うことが望ましい。

☆各委員会（事業）は、年度中ででも、新設・休止・廃止を行うことが出来る。

☆総会又は企画検討委員会において、委員会の新設（委員会点線部分）・休止・廃止について協議・決定する。

地域コミュニティ計画

委員会名	事業案	事業の目標案
防災防犯委員会	安全なまちづくり	宝木地区自主防災連絡協議会と連携した、地区防災防犯活動にて共助社会を目指す
ふれあい市推進委員会	ふれあい市の開催	野菜を中心とした地産地消の推奨、地域住民のふれあいの場の提供
桜土手・花壇整備委員会	環境整備	植樹を行った、河内川沿いの桜の管理、公民館花壇をはじめとする環境整備等による美しい地域づくり
貝殻節踊り推進委員会	貝殻節まつり 一斉おどりへの参加	部落内的一体感、部落間の連帯意識の向上をめざし、親睦をはかる。 宝木地区の存在感の向上
同窓会推進委員会	同窓会の開催	21歳の宝木小学校卒業生による同窓会を企画し、対象者に地域の良さを感じ、愛着を醸成してもらう
アーカイブ保存委員会	アーカイブづくり	宝木地区の過去・現在写真をデジタル保存し、地区風景・建物等のアーカイブを蓄積する
たより啓発委員会	コミネットだよりの編集 通学時の啓発ビラくばり	まちづくり協議会の活動を知ってもらう (全戸、通勤通学者等へ配布)
健康を考える会推進委員会	宝木地区民の 健康を考える会の開催	地区民の健康について考え、生活習慣病に向き合うまちづくりを目指す

※宝木っ子まつり、文化祭は後援という立場で、委員会は設けない
 そのため、宝木っ子まつり実行委員会及び、文化祭実行委員会にはまちづくり協議会として、役員及び企画検討委員が主として当る。